

令和7年度 墨田区立中川小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 三ヶ島 誠一郎

学校教育目標	◎よく考え、進んで学習する子（今年度の重点） ○思いやりの気持ちを持ち、仲良くする子 ○からだをきたえ、ねばり強く努力する子
目指す学校像	保護者、地域から信頼され、児童が安心して自分を伸ばせる学校
目指す児童像	自他を大切にしながら、自ら何事にも根気よく取り組む児童
目指す教師像	人間的、社会的に成熟した存在として、児童に範を示し、児童を愛し、児童のために研鑽し、児童に成長を実感させ、児童と共に成長を喜び合える教師

○令和7年度 学校経営計画における重点内容
本校の教育目標
 ・よく考え、進んで学習する子
 ・思いやりの気持ちを持ち、仲良くする子
 ・からだをきたえ、ねばり強く努力する子
を実現するために、学校経営方針を「子どもたちが元気で、あいさつの響く学校づくり～チーム中川で取り組み、笑顔を育む～」とした。
 キーワードとしているのは「自己実現」である。校内研究や研修を中心に「わかる授業」「できる授業」を実践する。それによって、児童に満足感、教師に自信、地域・保護者に信頼をもってもらう。それぞれが望む姿を実現していく。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
各教科指導等	①確かな学力を育てるために年間指導計画に基づいた意図的・計画的な指導を実施し、「できる」「わかる」が実感できる授業を実現する。	①教材研究やGIGAスクール構想を推進し、児童の興味・関心と理解度を向上させながら、毎時間「めあて」と「まとめ」を明確にした授業を実施する。	4	教職員「日々の教育活動でICT機器を～」の肯定的な回答100%	4	4	保護者「学校は、学習内容のわかりやすい授業を～」の肯定的な回答80%以上	4	保護者の85%から昨年度を上回る肯定的回答を得た。一方「よくわからない」という回答も一定数あった。学校公開を中心に便りなどでも周知していく。	行事や学校公開等の機会を活用し、工夫して授業に取り組んでいる様子を伝えていく。学校だよりやHPなどを活用して教育活動をわかりやすく伝えていく。	A	A	先生方が自信をもって「指導している」といえることは大切。これからもわかりやすい授業を展開してほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 70%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 60%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 60%未満						
	②校内研究を基盤とした教師の指導力の向上（今年度は算数）を推進する。	②各学年研究授業を実施し、講師からの指導を基に指導力の向上を図る。各学力調査等の結果を基に学力向上プランの見直しによる授業改善を行う。	4	教職員「日々の授業で学習内容がわかりやすく～」の肯定的な回答100%	4	4	児童「授業の内容はわかりますか」の肯定的な回答80%以上	4	児童の97%から肯定的回答を得た。実際に全国学力学習状況調査や墨田区学習状況調査でもそれぞれの平均値を上回る結果を得ている。	今後も「中川学習スタンダード」を軸に学習を展開し、区の施策を着実に実施しながら、学力の向上・定着を目指す。	A	A	「授業の内容がわかる」と児童の97%が肯定的回答をしている。これからも「できた」、「わかった」を味わえる授業を展開してほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 70%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 60%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 60%未満						
	③特別な支援を必要とする児童に対するの、組織的な支援等を行う。	③校内委員会による個別指導計画の作成・実施・評価・改善を行う。また、実態把握と情報共有を行う。	4	教職員「日々の教育活動で、子供の努力を認めたり～」の肯定的な回答100%	4	4	保護者「学校は、子どもの努力を認めたり～」の肯定的な回答80%以上	4	教職員全員が児童の努力などを見逃さないように努めている。今後も児童に対する愛情を大切に、人権に配慮しながら機を逃さず称賛すべき場面で称賛していく。	保護者の87%から肯定的回答を得た。今後も児童に対する愛情を大切に、人権に配慮しながら機を逃さず、児童のよさを認め、称賛していく。	A	A	大人も子どもも努力を褒められたり、認められたりしたらうれしいと思う。今後も機を逃さず、認め、励ましてほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 70%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 60%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 60%未満						
生活指導等	①いじめ、不登校児童等の発生を未然に防止し、発生した際は迅速に解決に向けた組織的な取組を行う。	①生活指導夕会や関係委員会により、いじめや不登校児童の未然防止、早期解決を推進する。また、区意識調査を利用して、学級経営を改善し、教員に人権感覚の醸成も図る。	4	教職員「日々の教育活動で、児童が楽しく～」の肯定的な回答100%	4	4	児童アンケートで「学校は楽しい」の肯定的な回答90%以上	4	児童の96%から肯定的回答を得た。一方、否定的な回答をした児童も4%存在する。今後も充実した教育活動が展開されるよう努めていく。	今後も児童一人一人への配慮を大切に、どの子も「学校は楽しい」と回答できるように「いい学校なかがわ」の実現を目指す。	A	A	「学校は楽しい」と言えるのは一番大切なことかもしれない。これからも一人一人に目を掛け、通いとなる学校づくりを心掛けてほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 80%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 70%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 70%未満						
	②基本的な生活・社会習慣を定着させ規範意識を向上させる。また、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	①「中川スタンダード」「中川のやくそく」を活用して生活指導を実施する。また「あいさつ」を重点目標と位置付け、あいさつ週間を実施する。	4	①教職員「道徳教育を充実させ、子供に思いやりの心や規範意識～」の肯定的な回答100%	4	4	児童「学校のやくそくをまもって～」の肯定的な回答100%	3	児童の98%から肯定的回答を得た。児童全員が「まもっている」といえるよう、生活指導を充実し、今後も100%を目指して指導していく。	「中川のきまり」を軸に指導していく。また、生活指導の週目標を各学級で振り返ることにより、適宜指導していく。	A	A	ほぼ全ての児童が「学校の約束を守っている」のはすばらしい。挨拶もよくしてくれる。これからも指導を続けてほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 90%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 80%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 80%未満						
	③危機回避能力の育成や子どもの安全を確保するための取組等を行う。	①月1回、様々な災害を想定した避難訓練を実施し、命を守る行動能力を向上させる。	4	教職員「安全対策が適切に行われている」の肯定的な回答100%	4	4	児童「避難訓練を真剣に～」の肯定的な回答100%	3	児童の98%から肯定的回答を得た。有事の際に命を守る的確な行動がとれるよう今後も指導を徹底していく。	なぜ避難訓練を真剣に行わなければならないのかという意識付けをしっかりと行い、自分の命は自分で守るという気持ちを育て、行動できるようにしていく。	A	A	墨田区は低地に位置しているため、防災拠点会議なども開催している。地震、火事、洪水など、今後も適切に避難訓練を実施してほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 90%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 80%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 80%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	①子どもの実態に合わせた教育目標設定および学校評価等を適切に行う。	①児童、保護者、地域、教員によるアンケートを行い、改善策を立案し、実施する。	4	保護者アンケート回収率90%以上	2	4	保護者「学校は行事や学校公開などを通して、～」の肯定的回答90%以上	4	保護者の94%から肯定的回答を得た。今後も学校公開、お便り、HPなどを活用し、本校の教育活動を広く周知していく。	保護者アンケートの回収率は前期87%であったが、後期は72%であった。昨年度よりは上昇したが、今後も呼び掛けを行う。	B	A	「学校だより」で2か月分の予定を示してくれるので予定も立てやすい。児童の授業や行事での様子を楽しみにしている。
			3	〃 80%以上		3	〃 80%以上						
			2	〃 70%以上		2	〃 70%以上						
			1	〃 70%未満		1	〃 70%未満						
	②学校経営方針に基づいた組織的な教育活動・学校運営等を行う。	②主幹、主任教諭を校務分掌のチーフとし、責任ある立場を担当させることで、職層を意識した主体的学校運営を行う。	4	①校内OJTを計画通り実施する100%	4	4	自己申告を計画通り実施する100%	4	校内OJT、自己申告を計画通り実施した。今後も教職員としての職責を果たせるよう計画的に研修等を実施していく。	教育公務員として今後も自ら研修に努め、区民の皆様から信頼を得られる行動をとるよう指導していく。	A	A	先生方の仕事は専門的である。忙しい中だと思うがこれからも励んで頂きたい。PTA、地域も協力を惜しみません。
			3	〃 90%以上		3	〃 90%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 80%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 80%未満						
	③設備等を有効活用した教育活動を実施する。	③ICT機器を活用し児童の興味・関心を引き出す教育活動を実現する。児童の交流場面等でも積極的に活用し、主体的、対話的で深い学びを実現する。	4	保護者「学校は、ICT機器を～」の肯定的な回答80%以上	4	4	児童「タブレット端末やプロジェクターを～」の肯定的な回答90%以上	4	保護者の81%、児童の98%から肯定的回答を得た。今後もICT危機の特性を生かした授業展開を心掛ける。	GIGAスクール構想に基づき、今後もICT機器を活用し、児童の興味・関心を高め、学力向上に効果が出るような指導を行っていく。	A	A	低学年の児童もタブレットを巧みに操っているのを見て感心した。実際に「読む」、「書く」こととバランスを取りながら、活用してほしい。
			3	〃 70%以上		3	〃 80%以上						
			2	〃 60%以上		2	〃 70%以上						
			1	〃 60%未満		1	〃 70%未満						
家庭・地域連携	①教育目標や日常の教育活動の様子など工夫してわかりやすく伝える取組等を行う。	①ホームページの定期的な更新により、学校の様子や情報を定期的に発信する。	4	教職員「学校は教育目標や教育方針、学年・学級目標等を～」の肯定的回答100%	3	4	保護者「学校は教育目標や教育方針、学年・学級目標等を～」の肯定的回答90%以上	4	改善・取組の工夫をこれからも追求し、学校だよりや保護者会などを通じて、学校が目指すものをしっかりと保護者に伝えていく。	保護者の95%（昨年度89%）から肯定的回答を得た。学校だよりにより教育目標を掲載するなどの工夫を行っている。今後もいろいろ工夫をしていく。	B	A	どのような学校を目指すのかは大切なことなので、学校だよりやホームページを活用し、これからも折に触れ、伝えていってほしい。
			3	〃 90%以上		3	〃 80%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 70%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 70%未満						
	②相談体制の確立を図る。	②相談しやすい雰囲気作りを心掛ける。スクールカウンセラーなどとも連携を取り、児童や保護者の困り感を解消できるようにする。	4	保護者「学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすい～」の肯定的な回答80%以上	4	4	児童アンケート「相談をしたとき、先生は話を聞いてくれますか」の肯定的回答100%	3	保護者の88%から肯定的回答を得た。否定的な回答8%、「よくわからない」という回答が4%あるので、今後も話しやすい学校・先生になるよう努力していく。	児童の98%から肯定的回答を得た。これからも児童に対する親愛の情を大切に、全児童から信頼を得るように努めていく。	A	A	悩み事などがあったときに先生が相談に乗ってくれるという安心感はとても大切。これからも児童・保護者に寄り添う学校でいてほしい。
			3	〃 70%以上		3	〃 90%以上						
			2	〃 60%以上		2	〃 80%以上						
			1	〃 60%未満		1	〃 80%未満						
	③保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。ブロック小中学校で授業公開・協議会等を行い、各校の様子を把握し、連携の強化を図る。	③地域人材の協力のもと、児童の放課後活動の場を確保する。ブロック教員間連携と幼児・児童・生徒間関係の充実を図る。	4	各学年、毎月2回以上、放課後活動の場を確保・実施する100%	4	4	幼保小中連絡協議会計画に基づく実施100%	4	「放課後子ども教室」をPTA、保護者・地域の方の協力を得ながら計画通り実施することができた。児童の要望も大きいので今後も継続していく。	幼保小中連絡協議会を計画に基づいて実施した。今後も発達段階を踏まえながら、それぞれの段階で適切な対応が実施できるよう計画・実行していく。	A	A	子供たちはとても人懐こい。これからも中川小の児童のために協力できる場所は協力していくので、お声掛け頂きたい。
			3	〃 90%以上		3	〃 90%以上						
			2	〃 80%以上		2	〃 80%以上						
			1	〃 80%未満		1	〃 80%未満						

○令和7年度 学校経営報告のまとめ（総括）

・学校経営方針である「子どもたちが元気であいさつの響く学校づくり」を目指し実践してきた。96%の児童が「学校は楽しい。」と回答し、93%の保護者が「お子さんは楽しく学校生活を送っている。」と回答している。これからも「できる・わかる授業」を大切にしながら、子ども達が楽しいと思える教育活動を推進していく。

・「お子さんは本校教育目標『よく考え、進んで学習する子』に育っている。」「お子さんは本校教育目標『思いやりの気持ちをもち、仲良くする子』に育っている。」「お子さんは本校教育目標『からだをきたえ、ねばり強く努力する子』に育っている。」の質問に対し、保護者の肯定的な回答はそれぞれ76%、95%、78%であった。次年度も知・徳・体の全人的な人格の形成を目指し、教育活動の充実を図っていく。